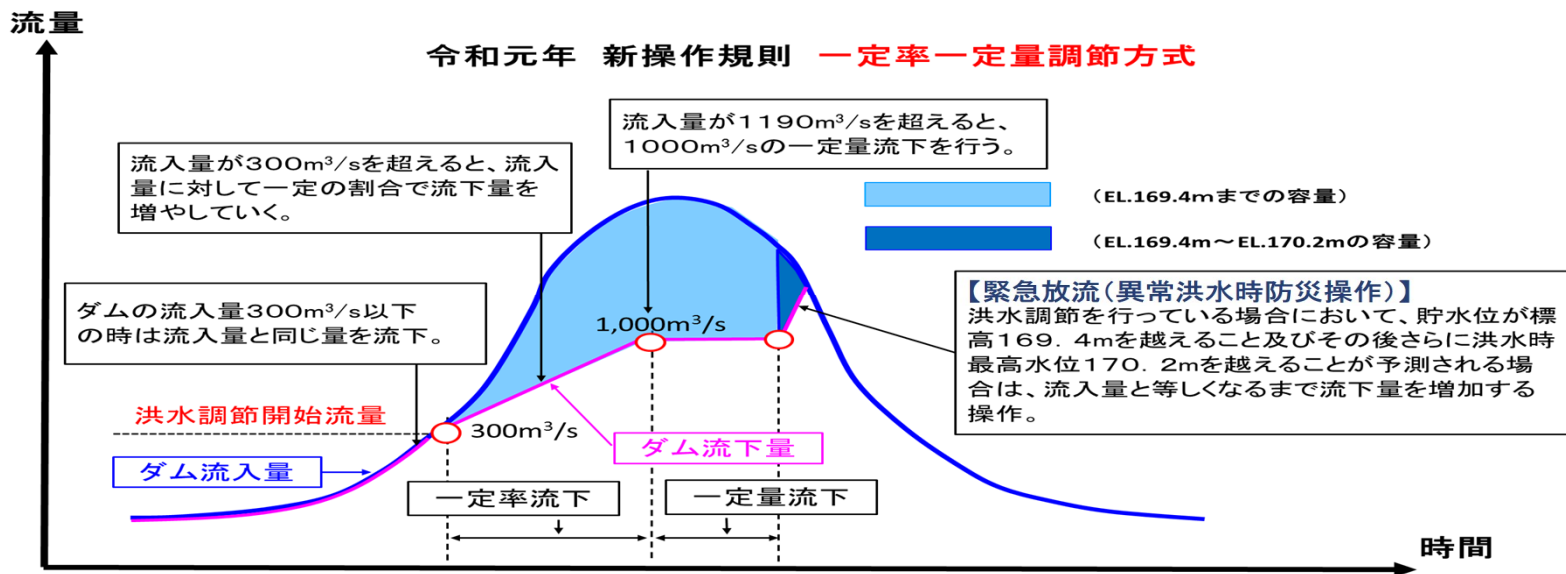


# 国土交通省 肱川ダム統合管理事務所から 住民のみなさまへ大切なお知らせです。

## 操作規則が変わりました【令和元年6月6日】



## 操作規則変更の概要

## 【洪水調節図】

- 野村ダムは①鹿野川ダム改造事業によって増加した洪水調節容量を活用し、②東大洲地区等の暫定堤防70cm嵩上げを踏まえ、鹿野川ダムとともに操作規則を変更しました。
- 大規模な洪水に対してダムの容量を確保するため、**洪水初期の段階で流下量を増加**させる操作に変更しました。
- ダムへの流入量が300m³/sまでは、流入量と同量の流下を行います。**その後、流入量が300m³/sを超え1,190m³/sの間には、一定の割合で貯留しながら、次の計算式で算出された量を流下**させます。  

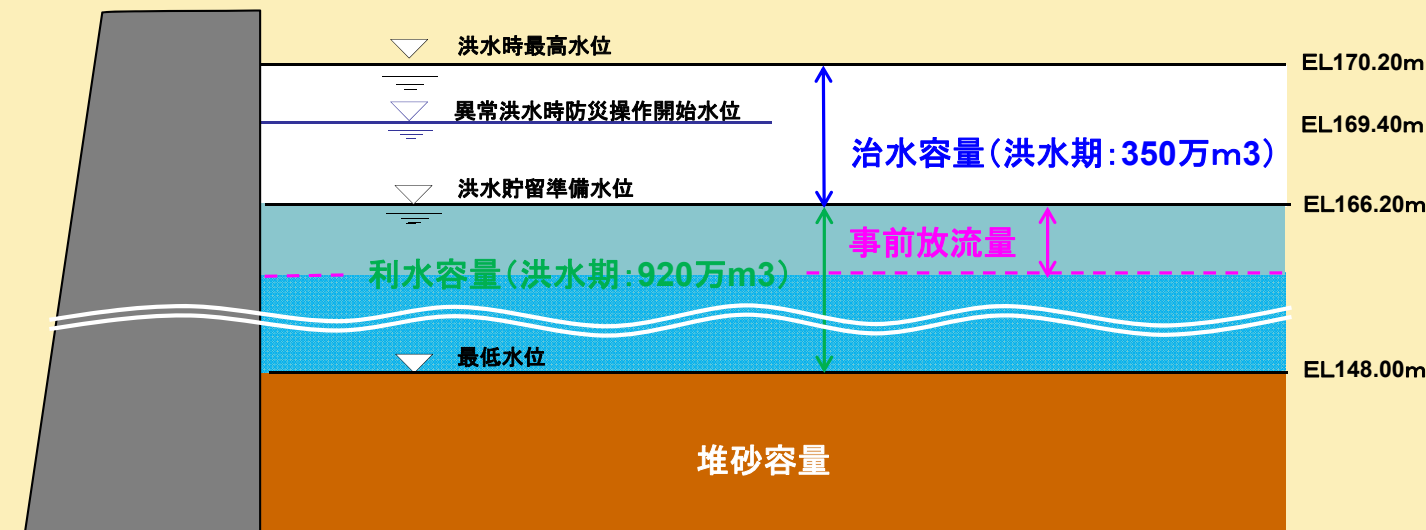
$$\text{流下量 (m³/s)} = (\text{流入量 (m³/s)} - 300 \text{ (m³/s)}) \times 0.790 + 300 \text{ (m³/s)}$$
- 流入量が1,190m³/sを超えたとき以後は**流入量が1,000m³/sに等しくなるまで、流下量を1,000m³/sの量で流下**させます。
- ただし、貯水位が標高169.4mを超えること及びその後さらに洪水時最高水位170.2mを超えることが予測される場合は、流入量と等しくなるまで流下量を増加する緊急放流(異常洪水時防災操作)を行う場合があります。

## 緊急放流(異常洪水時防災操作)について

- 緊急放流(異常洪水時防災操作)とは、大規模な洪水によりダムが満水になることが想定される場合、ダムに入る水量とダムから流下させる量を同じ水量に近づける操作です。
- 緊急放流の可能性がある場合、**約3時間前と約30分前にアナウンスとサイレン吹鳴**を行います。
- 緊急放流を行うと野村ダム下流の河川では、急激な河川の水位上昇と**土地の低いところから氾濫**が始まります。
- 緊急放流が開始される前に住民の皆様は**自治体等の指示に従い避難し安全を確保**して下さい。

# 野村ダムの洪水調節に関する水位と用語

## 野村ダムに関する重要な用語と解説



- \* 事前放流(利水者の協力)は洪水調節機能の向上のために洪水前に利水容量内に貯留された流水を流下させる操作です。(平成30年7月豪雨での実績は貯水位をEL 162.70mまで下げています。)
- \* 非洪水期(10/16~6/15)の治水容量は80万m<sup>3</sup>です。EL170.20m~EL169.40mの容量を使用します。
- \* 6/16~7/14は非洪水期(80万m<sup>3</sup>)から洪水期(350万m<sup>3</sup>)へ治水容量を増やすために貯水量を下げていく移行期になります。

項目	解説
洪水時最高水位	洪水時、一時的に貯水池に貯めることが出来る最高の水位です。
異常洪水時防災操作開始水位	ゲートなど機械式放流施設を持っているダムにおいて、操作規則等の本文で定めた「本則操作」による洪水調節を続けた場合に、貯水位が洪水時最高水位を超えることが予測される場合、操作規則等のただし書きの規定により、貯水位に応じてゲート进行操作し、流量を流入量まで増加させる操作を「異常洪水時防災操作(緊急放流)」といいます。このような操作を開始する水位です。治水容量の8割程度に相当する水位を目安としています。
洪水時貯留準備水位	洪水調節を目的とするダムのなかには、洪水期に洪水調節のための容量を大きくとるために、洪水期に限って常時満水位よりも水位を低下させる方式を採用するダムがあります。このような場合に、洪水期に超えてはならないものとして設定されている水位を「洪水貯留準備水位」といいます。
最低水位(堆砂面)	ダム貯水池運用で想定しているもっとも低い位置の標高です。
堆砂容量	貯水池へ流入した土砂を堆積させる容量です。ダムの建設後、時間の経過とともに貯水池内に堆砂が進行します。このためダム計画、通常、利水や洪水調節のための有効貯水容量に影響が出ないように、別に貯水池の立地条件に応じた堆砂容量を確保しています。堆砂容量を超えて堆砂が進行すると、治水や利水の機能が計画通りには果たせなくなるようになります。

・詳しくは国土交通省のホームページ『川の防災情報』の提供情報を参照してください

・利用方法

各ダム情報や河川情報等のデータ <https://www.river.go.jp>

# 放流警報設備の改良について

住民の皆様確実に警報を伝えられるよう、警報施設を改良します。

## 警報所・放流警報情報板 位置図



## 施設の機能

回転灯: ダムのゲートから流下していることをランプで表示しています。

スピーカー: ダム操作についてアナウンスで伝えます。

サイレン:  
ダム操作について  
サイレンで伝えます。

電光表示板【大型】:  
ダムのゲート操作に  
ついて「ダム放流  
中」を表示しています。

電光表示板【小型】:  
ダムのゲート操作に  
ついて「ダム放流  
中」を表示しています。



サイレン・スピーカー警報所



スピーカー警報所

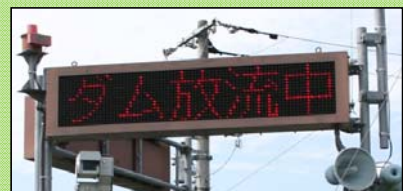


情報板

## 警報所・放流警報情報板の改良内容

- スピーカーの改良
- 渦尻警報所に機能追加
- 電光表示板に情報追加

2方向スピーカー → 4方向スピーカーに改良します。  
 スピーカーのみ → スピーカー + サイレン  
 ダム放流中 → 最大流下量(見込み)の情報



赤色でダム放流中を表示

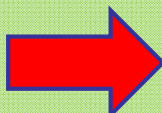
### 警報所改良



(イメージ)



### 電光表示板 に情報追加



注意(緑)・警戒(黄)・危険(赤)・緊急(紫)の危険の度合いに色分けし、最大流下量の見込みを表示します。

**重要**

# 野村ダムの放流警報

## 異常洪水時防災操作のサイレン・アナウンス等の変更

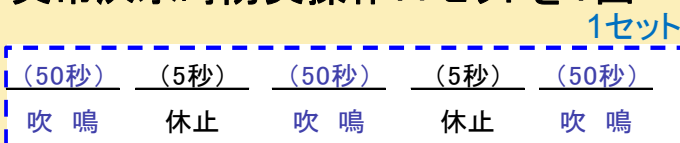
異常洪水時防災操作移行の周知について、緊急性がより切迫感を持って伝えられるように変更します。

### 変更項目

- 異常洪水時防災操作の可能性がある場合に、いままでの約1時間前の周知に加え約3時間前にも周知を行います。1回の周知から2回の周知に変更します。
- サイレンの吹鳴回数を下記のとおり変更します。

これまでの吹鳴回数

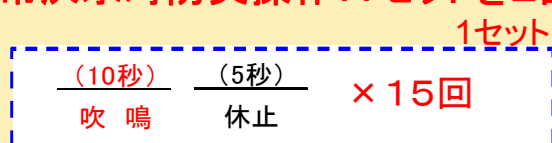
異常洪水時防災操作: 1セットを1回



変更

変更後の吹鳴回数

異常洪水時防災操作: 1セットを2回



サイレンの鳴らし方は、「50秒鳴って5秒休み」を3回繰り返します。(約2分半)

鳴らし方は、「10秒鳴って5秒休み」を15回繰り返します。(1セット約4分、計約8分)

- スピーカー(各警報所・警報車)から切迫感が伝わるようにアナウンスを変更します。

これまでのアナウンス

「異常洪水時防災操作に移行する予定。嚴重に警戒してください」

変更

新しいアナウンス

「川が氾濫します。危険です、危険です、ただちに命を守る行動をとってください」

- 電光表示板の表示内容を切迫感の伝わるように文面を変更します。

これまでの表示

ダム放流中

追加

緊急放流時の表示

非常事態  
ダム流下量激増

上記のサイレンやアナウンス、電光表示板の内容を確認したらダム下流域で氾濫が発生することを意味します。直ちに命を守る行動が必要です。



# 野村ダムの情報入手の仕方について

野村ダムの状況(流入量、流下量、貯水位等)について各媒体をとおして確認できます。

## 1. WEB媒体の情報

### 利用方法

1)パソコン・スマートフォンをご利用の場合  
<http://www.river.go.jp>

2)コードをご利用の場合



### ●サンプル画像

ダム名	水系名	河川名	貯水量 (m <sup>3</sup> )	貯水量 残存率 (%)	貯水量 増減 (m <sup>3</sup> )	全貯水量 (m <sup>3</sup> )	全貯水量 残存率 (%)	全貯水量 増減 (m <sup>3</sup> )	全貯水量 増減率 (%)	所在地
野村ダム	石川	石川	199,289	11,206	84.6	89.6	0.76	1.46	0.0	愛媛県西予市野村町野村8-153-1

ダムの諸量貯水位・流入量・流下量が確認できます

## 2. Twitterからのダム情報

### 利用方法

1)パソコンをご利用の場合  
[https://twitter.com/mlit\\_nomura](https://twitter.com/mlit_nomura)

2)コードをご利用の場合



### ●サンプル画像



ダムの流下状況をツイートします。

## 3. NHK総合データ放送から

### ●四国のダム情報視聴方法

- 総合テレビを選局します。
- リモコンの「dボタン」を押して「データ放送画面」を表示させます。
- 左側のボタンの中から「四国のダム情報」もしくは「メニュー」を選択し、決定ボタンを押します。「メニュー」を選んだ場合は、さらに「四国のダム情報」を選択します。
- 気象レーダー画面(地図)上にダムの位置が表示され、画面下にはそれぞれのダムの情報が表示されます。また、リモコンの上下ボタンで表示ページを変更できます。
- リモコンの左右ボタンでそれぞれのダムを選択すると、地図上の位置表示が点滅します。
- リモコンの緑ボタンを押すと、表示されている情報の説明画面(ヘルプ画面)が現れます。

### ●サンプル画像



ダムの流入量・流下量・貯水率が確認できます。  
 貯水率は、利水容量に対しての貯水の割合です。

## 4. 西予CATV(株)からの野村ダムCCTV映像

### ●サンプル画像

市内広域監視カメラ映像 (西予CATV(株)より提供)

野村ダム直下流  
 野村ダムCCTV映像(野村ダムより提供)  
 野村ダムでは貯水位を低下させる操作を開始

市内道路カメラ映像 (国土交通省、愛媛県より提供)

野村ダムの映像(貯水池、ダム直下流、ダム下流、ダム上流)を10秒毎にスクロール表示しています。

カメラ映像の下部に野村ダムからの流下情報をテロップで表示しています。(通常時は表示しません)

☆西予CATV加入の方は地上デジタルCH122「ライブch2」で見れます。